

2020年度事業報告

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

I. 概況

1. 全体景況

政府発表によれば、2020年度（令和2年度）の我が国の経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、依然として厳しい状況にあるが、「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」、令和2年度第1次・第2次補正予算の効果も相まって、持ち直しの動きがみられる。他方、経済の水準はコロナ前を下回った状態にとどまり、経済の回復は道半ばである。

こうしたなか、政府は、感染症の拡大防止策、ポストコロナに向けた経済構造の転換・好循環の実現、防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保を柱とする「国民の命と暮らしを守る安心と希望のための総合経済対策」

（以下「総合経済対策」という。）を策定するとともに、令和2年度第3次補正予算を編成した。また、最近の感染拡大に対しては、緊急事態宣言に基づいて感染拡大を抑えることを最優先に対策を徹底し、経済への影響に対しては、令和2年度第3次補正予算の着実な執行とともに、予備費も活用して支援策を講じていく。

今後については、感染拡大の防止策を講じるなかで、総合経済対策の着実な執行等による各種政策の効果や海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待される。ただし、内外の感染拡大による影響が国内経済を下振れさせるリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。物価の動向をみると、原油価格下落等により、消費者物価（総合）は前年比でマイナスとなっている。この結果、令和2年度の実質国内総生産（実質GDP）成長率は▲5.2%程度、名目国内総生産（名目GDP）成長率は▲4.2%程度と見込まれる。また、消費者物価（総合）変化率は▲0.6%程度と見込まれる。

（出典：令和2年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度、2021年1月18日閣議決定）

2. 鑄造業界の動向

- （1）鑄造業の2020年の生産金額（ダイカストを除く）は、1兆1,610億円で対前年比15.1%減、同じく生産量も354万トンで同16.9%減となり、金額、重量ともに2年連続で減少した。
- （2）代表業種である鋳鉄鑄物の生産金額は、6,857億円、同14.6%減で7千億円を割り込んだ。生産量も313万トン、同16.3%減となり、金額、重量ともに2年連続で減少した。鑄鋼も生産金額が1,217億円、同10.0%減、生産量が107千トン、同29.8%減と、金額、重量ともに2年連続で減少した。
- （3）非鉄金属鑄物（ダイカストを除く）は、銅合金鑄物の生産金額が726億円、同17.9%減と2年連続で減少、生産量も58,252トン、同17.9%減となり6万トンをも下回った。また、アルミニウム鑄物も2,356億円、同20.6%減、生産量は344千トン、同21.4%減と金額、重量ともに2年連続で減少した。

この結果、2020 年の全生産金額（ダイカストを含む）に占める非鉄鋳物比率は、52.1%となり、5 年連続して 50%を超えている。

表 1. 鋳造品の生産額推移

単位：億円、（ ）：対前年比%

年	銑鉄鋳物	鋳 鋼	銅合金	アルミ鋳物	精密鋳造品	ダイカスト
2000	9,055 (102.1)	1,377 (109.7)	700 (99.5)	2,888 (103.2)	471 (117.4)	4,655 (106.3)
2005	9,130 (107.5)	1,434 (117.2)	823 (98.7)	2,791 (107.3)	463 (105.5)	6,000 (108.9)
2010	8,509 (125.7)	1,367 (103.0)	958 (114.1)	2,631 (126.9)	514 (118.4)	5,765 (130.0)
2013	8,276 (97.5)	1,288 (100.6)	877 (91.4)	2,717 (99.0)	519 (102.4)	5,687 (98.0)
2014	8,385 (101.3)	1,200 (93.2)	952 (108.6)	2,821 (103.8)	565 (108.9)	5,874 (103.3)
2015	8,198 (97.8)	1,183 (98.6)	966 (101.5)	2,850 (101.0)	539 (95.4)	5,848 (99.6)
2016	7,489 (91.4)	1,177 (99.5)	894 (92.5)	2,812 (98.7)	483 (89.6)	5,746 (98.3)
2017	7,841 (104.7)	1,331 (113.1)	892 (99.7)	2,968 (105.3)	472 (97.7)	6,103 (106.2)
2018	8,268 (105.4)	1,443 (108.4)	948 (106.3)	3,129 (105.4)	489 (103.6)	6,409 (105.0)
2019	8,026 (97.1)	1,352 (93.7)	885 (93.4)	2,968 (94.9)	450 (92.0)	6,235 (97.3)
2020	6,857 (85.4)	1,217 (90.0)	726 (82.1)	2,356 (79.4)	454 (100.9)	5,254 (84.3)

注：銑鉄鋳物には、鋳鉄管、可鍛鋳鉄を含む。

表 2. 鉄鋳物の生産量推移

単位：千トン、（ ）：対前年比%

年	合 計	銑鉄鋳物	鋳鉄管	可鍛鋳鉄	鋳 鋼
2000	4,941 (104.2)	3,998 (106.2)	580 (91.3)	98 (96.4)	264 (102.6)
2005	5,036 (103.0)	4,299 (104.8)	403 (88.9)	58 (74.8)	277 (107.1)
2010	4,030 (123.9)	3,469 (132.4)	316 (79.1)	39 (104.9)	207 (104.3)
2013	4,053 (97.5)	3,481 (97.0)	344 (104.1)	46 (124.3)	182 (89.7)
2014	4,058 (100.1)	3,482 (100.0)	360 (104.7)	44 (95.7)	172 (94.5)
2015	3,929 (96.8)	3,331 (95.7)	398 (110.6)	43 (97.6)	157 (91.1)
2016	3,736 (95.1)	3,237 (97.1)	310 (77.9)	41 (95.3)	150 (95.6)
2017	3,887 (104.0)	3,434 (106.1)	249 (80.3)	42 (102.4)	162 (107.9)
2018	3,967 (102.1)	3,511 (102.2)	249 (100.0)	40 (95.0)	168 (103.6)
2019	3,745 (94.4)	3,323 (94.6)	231 (92.7)	38 (94.9)	153 (91.2)
2020	3,133 (83.7)	2,764 (83.2)	233 (101.1)	29 (77.6)	107 (70.2)

表 3. 精密鋳造品・非鉄金属鋳物の生産量推移

単位：トン、（ ）：対前年比%

年	精密鋳造品	銅合金	アルミ鋳物	ダイカスト
2000	7,345 (111.4)	87,093 (105.3)	412,824 (104.6)	833,223 (109.4)
2005	7,380 (97.9)	97,794 (92.7)	412,483 (103.7)	1,064,866 (108.1)
2010	5,899 (136.0)	79,293 (105.3)	386,812 (132.5)	980,850 (129.3)
2013	6,357 (99.4)	73,433 (92.3)	413,804 (98.4)	984,842 (97.9)
2014	6,702 (105.4)	77,113 (105.0)	417,299 (100.8)	1,001,099 (101.6)
2015	5,824 (86.9)	77,884 (101.0)	418,556 (100.3)	977,481 (97.6)
2016	5,441 (93.4)	77,477 (99.4)	423,646 (101.2)	980,413 (100.3)
2017	5,353 (98.4)	75,387 (97.3)	441,837 (104.3)	1,043,558 (106.4)
2018	5,053 (94.4)	74,559 (98.9)	454,069 (102.8)	1,074,522 (103.0)
2019	4,172 (82.6)	70,963 (95.2)	437,339 (96.3)	1,022,064 (95.1)
2020	4,437 (106.3)	58,252 (82.1)	343,706 (78.6)	840,718 (82.3)

II. 協会活動の概要

2020 年度は、前年度に引き続き「鑄造産業ビジョン 2017 (2017 年 9 月)」が目指すべき姿を実現するためのアクションプランにおいて課題とした「IoT などの新しい技術を取り入れた設備投資とスマートファウンドリーの実現」に向けた検討を行うとともに、前年度からの継続として、①技術開発による商品開発力の向上、②経営基盤強化と健全な取引による事業発展、③同業／異業／地域との積極的な連携による競争力強化、④海外との連携、⑤人材育成の充実、⑥環境・エネルギー対策の強化に基づく事業計画に従って協会事業活動を推進した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響下においても、会員企業が正常な企業活動を行えるような環境整備の支援を行った。

2020 年度の主な事業活動は次のとおり。

1. 新鑄造産業ビジョン 2017 で提唱した IoT 等の推進を図るため、「IoT 推進特別委員会」を 8 名の委員及びアドバイザーで 7 回開催し、オンラインでセミナー（WEB 会議システム、IoT LT）を 2 回企画・開催した。
2. 令和 3 年度予算・税制要望として政府、鑄物議連等に対して、①新型コロナウイルス感染症の影響による企業活動支援、②取引慣行適正化の推進、③FIT の見直し等のエネルギーコスト拡大の抑制、④外国人技能実習制度の拡充、⑤中小企業に配慮した人材育成への助成の充実などを要望した。
3. 「未来志向型の取引慣行に向けて（世耕プラン）」に基づき、自動車産業適正取引ガイドライン及び素形材産業取引ガイドラインの追加改定を要望するとともに、9 月～10 月にかけて両ガイドラインの周知状況に関するフォローアップ調査を 7 年連続で行い、政府へ報告した。
4. 経営部会市場調査委員会では、新型コロナウイルス感染症影響調査を第 1 回 2020 年 7 月、第 2 回 2020 年 10 月に実施した。2 回の調査とも 200 社超の会員企業から回答があり、各社の生産動向ならびに雇用調整助成金・教育訓練の実施状況、政府の資金繰り支援の利用状況、コロナ禍の状況での不適切な取引の状況等々を確認し、会員企業へ鑄造ジャーナル、協会ホームページ、各種会合等で調査結果を報告した。
5. 環境分野では、環境・エネルギー対策としての、CO₂ 削減に関するアンケートを引き続き実施した。
6. 標準化では、2018 年度に原案作成作業を行った「JIS G 5505 CV 黒鉛鑄鉄品」の改正規格が 2020 年 7 月に発行された。「JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品」の改正規格は、原案作成分科会にて原案作成作業を終了し、規格協会へ提出した。また、ISO/TC25 国内審議会の活動として第 32 回 ISO/TC25 全体会議にリモートにて参加し、討議を行った。鑄造機械でも ISO/TC306 WG1～4 の国際会議にリモートにて参加した。
7. 人材育成では、将来の鑄物工場の経営者や工場長の育成を目指す鑄造カレッジは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により当初の計画を変更して、北

海道地区のみオンライン講義を導入して開催し、17名(うち銅合金コース1名)が受講し、15名が修了した。また、銅合金・軽合金コースについては専門科目のみをオンライン講義にて実施し、13名が参加。そのほかの科目・インターンシップについては来年度へ繰り越した。なお、本会が認定する鑄造技士は、2020年度で累計1,072名を認定するに至った。

8. 若手社員を対象とした新人教育研修プログラム「鑄造入門講座(鑄鉄・アルミニウム鑄物コース)」は、オンライン講義を導入。9月～11月にかけて3ヶ月間実施し、40名が受講。自己都合による途中辞退1名を除く39名が修了した。なお、本講座の修了生は、2020年度で累計514名となった。また入門講座テキスト編集委員会の作成したテキストを完成した。
9. 課題解決型専門コースである鑄造カレッジ上級コース「鑄鉄材料・砂型コース」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開講を中止した。
10. 専門研修としては、現場技術者及び作業者を対象に、鑄造の基礎技術に関する「鑄造技術研修会」を、オンライン講義にて実施。「溶解コース」(12月、1月)と「造型コース」(3月)の延べ3日開催し、延べ117名が受講した。なお、「3D-CAD技能研修会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催を中止した。
11. 設備・原材料分野では、5月の(公社)日本鑄造工学会(工学会)の全国講演大会に併設される展示会に参加すべく準備を進めたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期となった。
12. 国際活動においては、10月にICI Virtual Conferences(オンライン会議)に参加し、日本の市場動向についてビデオ発表を行った。
13. 地方組織の活性化を推進するため、東海支部、北陸支部、中国四国支部の3支部活動を支援して地域活動を展開した。併せて、島根県鑄造関連産業振興協議会との交流を実施した。
14. 若手経営者全国大会として2月にオンラインにて講演会を開催し、200名の参加を得た。

Ⅲ. 会議に関する事項

1. 会議に関する事項

本会運営上の基本的な事項及び重要案件を審議決定するため、総会、理事会6回、協会役員会2回、正副会長会6回、監事会1回をそれぞれ開催し、事業の円滑な推進を図った。

(1) 社員総会開催日程

第8回社員総会 2020年 5月19日(火) 機械振興会館

(2) 理事会開催日程

① 第36回 2020年 4月24日(金) Web+書面

- ② (書面) 2020 年 5 月 19 日 (火) 書面
- ③ (書面) 2020 年 6 月 30 日 (火) 書面
- ④ 第 37 回 2020 年 10 月 29 日 (木) Web
- ⑤ 第 38 回 2021 年 1 月 20 日 (水) Web
- ⑥ 第 39 回 2021 年 3 月 18 日 (木) Web

(3) 正副会長会開催日程

- ① 第 77 回 2020 年 4 月 24 日 (金) Web
- ② 第 78 回 2020 年 6 月 2 日 (火) Web
- ③ 第 79 回 2020 年 7 月 16 日 (木) 名古屋
- ④ 第 80 回 2020 年 9 月 4 日 (金) Web
- ⑤ 第 81 回 2020 年 12 月 11 日 (金) Web
- ⑥ 第 82 回 2021 年 3 月 18 日 (木) Web

(4) 協会役員会開催日程

- ① 第 28 回 2020 年 10 月 29 日 (木) Web
- ② 第 29 回 2021 年 1 月 20 日 (水) Web

(5) 監事会

2020 年 4 月 22 日 (水) 書面審議にて監事会を開催し、2019 (令和元) 年度事業報告書、同収支決算書及び財産目録について監査を行った。

2. 部会に関する事項

(1) 総務部会

佐藤総務部会長の下に、総務部会を 4 回開催し、本会の財務・経理及び組織・運営 (他の部会に属するものを除く) に関する事項について審議した。

- ① 第 1 回 2020 年 6 月 30 日 (火) Web
- ② 第 2 回 2020 年 8 月 31 日 (月) Web
- ③ 第 3 回 2020 年 11 月 20 日 (金) Web
- ④ 第 4 回 2021 年 2 月 15 日 (月) Web

(2) 経営部会

大亀経営部会長の下に、経営部会を 3 回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討及び会員の企業経営に役立つ情報の提供ならびに行事等の企画・立案について審議した。なお、今年度は、(1) 新型コロナウイルスの影響への対応、(2) 世耕プラン等の活用による適正取引の推進 (①労務費上昇分の価格転嫁、②型管理の適正化、③支払条件の適正化)、(3) FIT (再生可能エネルギー固定価格買取制度) への対応の 3 点を重点項目として活動を実施した。

- ① 第 1 回 2020 年 8 月 6 日 (木) Web
- ② 第 2 回 2020 年 11 月 9 日 (月) 名古屋
- ③ 第 3 回 2021 年 2 月 3 日 (水) Web

また、業界の動向を把握し、統計データ、最近の鑄造業界動向、原材料副資材コスト動向の会員への情報提供を行った。

(3) 技術・環境部会

柳澤技術・環境部会長の下に、技術部会を 3 回開催し、部会の運営に関する基本的、重要な事項についての検討及び委員会運営等に関する事項について審議を行った。

- ① 第1回 2020年 7月 7日 (火) Web
- ② 第2回 2020年 10月 15日 (木) Web
- ③ 第3回 2021年 2月 3日 (水) Web

(4) 国際部会

澤田国際部会長の下に、国際部会を3回開催し、国際交流、海外視察・調査等に関する事項について審議を行った。

- ① 第1回 2020年 6月 29日 (月) Web
- ② 第2回 2020年 10月 20日 (火) Web
- ③ 第3回 2020年 12月 17日 (木) Web

(5) 機材部会

渡辺機材部会長の下に、機材部会を5回開催し、機材部会としての活動方針・計画等に関する事項について審議を行った。

- ① 第1回 2020年 6月 16日 (火) Web
- ② 第2回 2020年 10月 13日 (火) Web
- ③ 第3回 2020年 12月 15日 (火) Web
- ④ 第4回 2021年 1月 19日 (火) Web
- ⑤ 第5回 2021年 3月 10日 (水) 静岡+Web

IV. スマートファウンドリー化の推進（鑄造産業ビジョン 2017）

2017年9月に策定した「鑄造産業ビジョン 2017」が目指すあるべき姿を実現するためのアクションプランの課題として、「IoT などの新しい技術を取り入れた設備投資とスマートファウンドリーの実現」を会員の取組みへの提言として掲げた。この課題実現のための本会の取組みとして、技術・環境部会及び機材部会においては、既存委員会の中で重点テーマとして、主に技術面から会員企業のスマートファウンドリー化の推進を検討するとともに、2019年度に続き、鑄造工場のIoT化を経営戦略の観点から機動的に推進するために、「IoT 推進特別委員会」を開催するとともに、鑄造IoTTLT (Lightning Talk) を開催した。

(1) IoT 推進特別委員会日程

- ① 第1回 2020年 6月 25日 (木) Web
- ② 第2回 2020年 10月 5日 (月) Web
- ③ 第3回 2020年 11月 24日 (火) Web (Web セミナー前)
- ④ 第4回 2020年 11月 25日 (水) Web (Web セミナー当日)
- ⑤ 第5回 2021年 1月 13日 (水) Web
- ⑥ 第6回 2021年 3月 1日 (月) Web
- ⑦ 第7回 2021年 3月 11日 (木) Web

<IoT 推進特別委員会委員名簿>

委員長	藤原宏嗣 (アサゴエ工業(株) 代表取締役社長)
副委員長	塩谷栄治 (石川可鍛製鉄(株) 代表取締役社長)
副委員長	若林 誠 (株キャスト 代表取締役社長)
委員	明石隆史 (株明石合銅 専務取締役)
委員	沖 寿之 (株木村鑄造所 IoT 課)
委員	永森久之 (錦正工業(株) 代表取締役)
アドバイザー	佐藤孝造 (佐藤鑄工(株) 代表取締役社長)

(2) 鋳造 IoTLT 日程

第3回鋳造 IoTLT 2021年 3月 9日(火) Web

V. 事業活動に関する事項

1. 大会及び講演会・講習会等の開催に関する事項

(1) 若手経営者全国大会

オンラインで冬季大会(素形材団体との交流会)を実施した。

【講演会】 2021年 2月 26日(金) ZOOM ウェビナー
参加人数 200名

演 題	講 演 者 (所 属)
素形材産業の現状と課題、今後の政策	谷 浩氏(経済産業省素形材産業室長)
○パネルディスカッション 「新しい時代の経営ツールの実例・挑戦」	※順不同 藤原宏嗣氏(アサゴエ工業(株)社長)
○前 半 「オンラインでの工場見学について採用活動や 広報活動、営業活動への活用」	若林 誠氏(株キャスト社長) 吉野正弘氏(ヨシワ工業(株)社長) 塩谷栄治氏(石川可鍛製鉄(株)社長)
○後 半 「工場ビッグデータの収集と、その活用について」	永森久之氏(錦正工業(株)社長) 白江肇英氏(光洋鋳造(株)社長)

(2) 5団体共催セミナー

(一社)日本ダイカスト協会、(一社)日本鍛造協会、(一社)日本鋳鍛鋼会及び高度ポリテクセンター*の5団体合同で、各協会の会員に対して、以下に示す基礎的な研修セミナーを開催した。本会からは延べ25名の参加があった。

① 工業・製品図面読み方のポイント

2020年 9月 17日(木)～ 9月 18日(金) 11名

2020年 10月 15日(木)～ 10月 16日(金) 5名

② モノづくりに必要な切削加工のイロハー実習で学ぶ旋盤・フライス盤加工 鉄鋼編

2020年 11月 16日(月)～ 11月 17日(火) 0名

③ モノづくりに必要な切削加工のイロハー実習で学ぶ旋盤・フライス盤加工 アルミ編

2020年 10月 15日(木)～ 10月 16日(金) 0名

④ 鋼の熱処理

2020年 10月 8日(木)～ 10月 9日(金) 4名

⑤ 生産設備を故障させないための機械保全

2020年 12月 16日(水)～ 12月 17日(木) 5名

* (独) 高齢・障害・求職者雇用支援機構 高度職業能力開発促進センター

(3) 2020年度第4回省エネセミナー及び省エネ展示会

新型コロナウイルス感染症防止の観点から開催中止

2. 国際競争力を発揮できる環境の整備に関する事項

(1) 経営基盤強化にかかる政策制度への対応

2020年 11月 4日に開催された自民党「予算・税制等に関する政策懇談

会」において下新型コロナウイルス感染症の影響による企業活動支援の他下記の 2021 年度の予算・税制要望を行った。

【予算関係】

1. ものづくり・商業・サービス補助金の拡充
2. 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の特例
3. 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
4. 取引慣行適正化の推進
5. 経営者保証に関するガイドラインの周知・徹底

【税制関係】

1. 中小企業・小規模事業者の設備投資を支援する税制措置の延長
2. 地球温暖化対策税の用途拡大や安易な課税拡大の反対

【その他】

1. エネルギーコスト拡大の抑制
 - ① 再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）の見直し
 - ② 原子力発電の安全性を確保した早期再稼働を含めた安価で安定的なエネルギー供給
2. 特定技能外国人受入れ制度及び外国人技能実習制度の柔軟な運用

（2）鋳物産業振興議員連盟への要望

自由民主党の鋳物産業振興議員連盟（会長：麻生太郎衆議院議員）の総会に併せて情報交換会を以下のとおりそれぞれ実施し、議員連盟及び経済産業省他官公庁への施策・税制要望並びに情報交換を行った。

<第 20 回鋳物産業振興議員連盟（自由民主党）総会・情報交換会>

2020 年 9 月 23 日（水）：自民党鋳物産業振興議員連盟への要望

I. 重点項目

1. 新型コロナウイルス感染症の影響による企業活動支援
 - （1）雇用調整助成金の拡充や要件緩和措置の継続
 - （2）金融支援等の資金繰り支援策の継続
 - （3）再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）における賦課金減免制度の優良基準の柔軟な運用
2. 取引慣行適正化の推進
3. エネルギーコスト拡大の抑制
 - （1）再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）の見直し
 - （2）原子力発電の安全性を確保した早期再稼働を含めた安価で安定的なエネルギー供給

II. 施策関連要望

1. 特定技能外国人受入れ制度及び外国人技能実習制度の柔軟な運用
2. 経営者保証に関するガイドラインの周知・徹底

III. 予算・税制要望

1. ものづくり・商業・サービス補助金の拡充
2. 電力多消費産業に対する省エネ投資支援施策の特例
3. 中小企業に配慮した人材育成等への助成の復活・拡充
4. 中小企業・小規模事業者の設備投資を支援する税制措置の延長

3. 鑄造業の経営改善・振興対策、その他に関する事項

(1) 新型コロナウイルス感染症影響調査

新型コロナウイルス感染症影響調査を第1回(2020年7月)、第2回(2020年10月)と実施し200社超が回答。会員企業の生産動向ならびに雇用調整助成金・教育訓練の実施状況、政府の資金繰り支援の利用状況、コロナ禍の状況での不適切な取引の状況等々を確認。会員企業へ鑄造ジャーナル、協会ホームページ、各種会合等で調査結果を報告した。

なお、本調査結果に基づいて雇用調整助成金に関して特例措置延長を厚労省へ要望した。

(2) 取引条件適正化の推進

① 第2回新型コロナウイルス感染症影響調査において、取引適正化の取組状況を確認し、政府の会合での鑄造業界の状況報告に活用。

② 中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会取引問題小委員会
(伊藤前会長が日本商工会議所中小企業経営専門委員会共同委員長(伊藤鉄工(株)社長)として委員参加)

第11回【書面審議】(審議期間:令和3年1月22~28日)

第12回 2021年3月22日(月)

・自主行動計画フォローアップ調査(経産省)結果を鈴木専務が報告

第13回 2021年3月25日(木)

③ 約束手形をはじめとする支払条件の改善に向けた検討会
(伊藤前会長が商工会議所代表(伊藤鉄工(株)社長)として委員参加)

第1回 7月31日(水)、第2回 8月19日(水)

第3回 9月14日(月)、第4回 11月16日(月)

第5回 12月21日(月)、第6回 2月19日(金)

④ 型取引の適正化推進協議会(中企庁)藤原会長が委員

第4回 8月27日(木)藤原会長はWeb参加

第5回 12月10日(木)藤原会長はWeb参加

⑤ 自動車取引適正化研究会(経産省)藤原会長が委員

第11回 書面審議 自動車産業取引ガイドライン改訂について(鑄造協会から変更案提出)

⑥ 自主行動計画フォローアップ調査

自主行動計画フォローアップ調査(経産省)を会員鑄造企業(受注側・発注側)に対して実施し、調査結果を中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会取引問題小委員会報告し、概要を鑄造ジャーナル、協会ホームページに報告。

⑦ 自動車総連実施の「型取引に関するアンケート調査」への協力

(3) サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金支援

サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金一次公募に際し、公募申請の参考資料の作成支援を実施。本事業の要件である鑄造品(素形材製品を含む)の生産拠点の集中度が高いことを証明する書類の作成が応募企業では困難なため、経済産業省素形材産業室の要請により実施。協会ホームページで公募の上、申し込みのあった会員企業6社に対して支援した。

(4) 経済産業省会員企業視察

以下の日程で経済産業省会員企業への工場視察ならびに情報交換会を実

施した。

- ・ 10 月 28 日（水）岡山県の会員企業 2 社を視察
視察者：素形材産業谷室長 1 名
- ・ 11 月 2 日（月） 静岡県会の会員企業 2 社を視察
視察者：柴田製造産業局審議官、須摩素形材産業室室長補佐、石原素形材産業室取引担当の 3 名
- ・ 11 月 27 日（金）富山県の会員企業 2 社を視察
視察者：柴田製造産業局審議官、谷素形材産業室長、佐々木素形室行政事務研修員の 3 名

（5）再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）コロナ感染症影響調査

FIT 賦課金の減免制度において、現行の「災害等の被害を受けた事業所の原単位の取扱い」をコロナ感染症の影響により原単位が悪化した企業への適用要望のため、2020 年度 FIT 減免認定企業に対し、本年度ならびに来年度申請予定の状況を調査した。

4. 同業との連携に関する事項

（1）量産鋳鉄铸件委員会（委員長：竹内英貴）

量産鋳鉄铸件企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に書面による情報交換とオンラインによる会合を計 4 回開催した。

- ① 第 1 回 2020 年 6 月 書面による情報交換
- ② 第 2 回 2020 年 9 月 書面による情報交換
- ③ 第 3 回 2020 年 12 月 18 日（金）Web
- ④ 第 4 回 2021 年 3 月 12 日（金）Web

（2）非量産鋳鉄铸件委員会（委員長：柏倉武志）

非量産鋳鉄铸件企業による市場情報、経営状況、経営課題等の情報交換を目的に 3 回開催した。

- ① 第 1 回 2020 年 9 月 15 日（火）Web
- ② 第 2 回 2020 年 12 月 9 日（水）Web
- ③ 第 3 回 2021 年 3 月 2 日（火）Web

（3）精密铸造経営委員会（委員長：岩瀬 稔）

- ① 第 1 回 2020 年 9 月 30 日（水）Web
- ② 第 2 回 2020 年 12 月 16 日（水）Web
- ③ 第 3 回 2021 年 3 月 11 日（木）Web

（4）非鉄委員会（委員長：田島正明）

- ① 第 1 回 2020 年 9 月 8 日（火）Web
- ② 第 2 回 2021 年 2 月 26 日（金）Web

（5）軽合金委員会（委員長：田島正明）

- ① 第 1 回 2020 年 11 月 2 日（月）Web
- ② 第 2 回 2021 年 3 月 25 日（木）Web

5. 調査研究に関する事項

（1）市場調査委員会（委員長：武山 尚）を開催し、新型コロナウイルス感染症の影響調査に関する内容について審議した。

- ① 第 1 回 2020 年 8 月 27 日（木）Web

6. 鑄造業に係る施策・税制等の要望・陳情に関する事項

令和3年度予算・税制等要望として、9月に自由民主党の鑄物産業振興議員連に対して、11月に自由民主党の「予算・税制等に関する政策懇談会」に対して鑄造業界の要望を実施した。(詳細は、前掲2. 国際競争力を発揮できる環境の整備」を参照)

7. 中小企業振興に関する事項

(1) 組合代表者会(委員長:丹羽 龍)

組合代表者会を事務局長会と合同で以下のとおり開催した。

- ① 第50回 2020年 7月31日(火)中止 書面による情報交換のみ
- ② 第51回 2020年10月 8日(木) Web
- ③ 第52回 2020年12月10日(水) Web
- ④ 第53回 2021年 3月17日(木) Web

(2) 組合事務局長会(委員長:神場光昭)

上記第51～53回組合代表者会と合同で組合事務局長会(第59～61回)を開催した。今年度単独開催は実施せず、2021年4月16日オンラインで開催する。

(3) 若手経営者委員会(委員長:富田康裕)

若手経営者委員会を4回開催し、若手経営者全国大会(夏・冬)の企画・運営他に関し審議した。

- ① 第52回 2020年 7月 9日(木) Web
- ② 第53回 2020年10月22日(木) Web
- ③ 第54回 2020年12月15日(火) Web
- ④ 第55回 2021年 2月17日(水) Web

(4) 組合だよりの発行

組合員を対象に組合だより(旧中小企業部会だより)を毎月計12回発行した。

8. 技術開発に関する事項

(1) キュポラ操業研究委員会(委員長:米田博幸)

テーマ:キュポラ溶湯の特性調査

- ① 第1回 2020年 7月30日(木) Web 出席者11名
- ② 第2回 2020年10月 6日(火) Web 出席者11名
- ③ 第3回 2020年12月22日(火) Web 出席者12名
- ④ 第4回 2021年 3月 9日(火) Web 出席者12名

(2) 電気炉操業研究委員会(委員長:林 静男、鈴木敏光(第4回))

テーマ:溶解炉のIoT他

- ① 第1回 2020年 7月14日(火) Web 出席者24名
- ② 第2回 2020年 9月29日(火) Web 出席者24名
- ③ 第3回 2020年12月 8日(水) Web 出席者21名
- ④ 第4回 2021年 3月 2日(金) Web 出席者24名

(3) 鑄型技術委員会(委員長:間瀬和之)

テーマ：鋳物砂に関する最新情報の提供及び討議

- ① 第1回 2020年 6月30日(火) Web 出席者 16名
- ② 第2回 2020年 9月16日(水) Web 出席者 15名
- ③ 第3回 2020年 12月 2日(水) Web 出席者 12名
- ④ 第4回 2021年 2月24日(水) Web 出席者 19名

(4) 精密鋳造技術委員会(委員長：細田修平)

テーマ：精密鋳造用ワックスの規格化他

(公社)日本鋳造工学会精密鋳造部会との共同開催で実施した。

()内は鋳造協会委員数

- ① 第1回 2020年 9月 9日(金) Web 出席者 12名(6名)
- ② 第2回 2020年 11月25日(水) Web 出席者 15名(7名)
- ③ 第3回 2021年 2月10日(水) Web 出席者 17名(7名)

(5) 銅合金技術委員会(委員長：丸山 徹・関西大学)

テーマ：青銅合金の金型鋳造他

- ① 第1回 2020年 10月26日(月)～11月6日(金)
書面会議(銅合金合同技術委員会・メール会議)
- ② 第2回 2021年 3月11日(木) Web 出席者 33名

9. 環境に関する事項

(1) エネルギー削減委員会(委員長：西谷俊二)

- ① 第1回 2021年 2月 9日(火) Web 出席者 8名

10. 指導・教育・人材育成に関する事項

(1) 人材育成特別委員会

- ① 第1回 2020年 11月11日(火) Web

なお、鋳造カレッジ北海道地区、銅合金・軽合金コース開催ならびに来年度開催にあたっては、随時オンラインにて会議を行った。主なものは以下の通り。

- ・2020年 10月20日(火) Web 北海道カレッジ中間総括
- ・2020年 12月 8日(火) Web 鋳造カレッジ現地責任者会議
- ・2021年 3月 4日(木) Web 鋳造カレッジ現地責任者会議

(2) 上級カレッジ委員会

- ① 第1回 2020年 11月17日(火) Web 出席者 12名
- ② 第2回 2020年 3月23日(火) Web

(3) 新人教育研修プログラム委員会

- ① 第1回 2020年 7月13日(月) Web 出席者 8名
- ② 第2回 2020年 7月30日(木) Web 出席者 8名
- ③ 第3回 2020年 10月28日(水) Web 出席者 8名
- ④ 第4回 2021年 2月24日(水)

(4) 入門講座テキスト編集委員会

- ① 第3回 2020年 8月18日(火) Web 出席者 5名

(5) 2020年度当初予定の鋳造カレッジ・上級コースは中止したが、鋳造カレッジ北海道地区講義をオンラインにて2020年7月～12月、またインターンシップを3月に実施。鋳造カレッジ銅合金・軽合金コース専門科目と鋳造入

門講座をオンラインにて以下の通り実施した。

- | | |
|--|-------------|
| ① 2020 年 9 月 24 日 (木) ～ 25 日 (金) | 入門講座 |
| ② 2020 年 10 月 15 日 (木) ～ 16 日 (金) | 入門講座 |
| ③ 2020 年 10 月 22 日 (木) ～ 23 日 (金) | カレッジ銅合金専門講座 |
| ④ 2020 年 11 月 5 日 (木) ～ 6 日 (金) | 入門講座 |
| ⑤ 2020 年 11 月 12 日 (木) ～ 13 日 (金) | カレッジ軽合金専門講座 |
| ⑥ 2020 年 11 月 19 日 (木) ～ 20 日 (金) | カレッジ銅合金専門講座 |
| ⑦ 2020 年 11 月 26 日 (木) ～ 27 日 (金) | 入門講座 |
| ⑧ 2020 年 12 月 3 日 (木) ～ 4 日 (金) | カレッジ軽合金専門講座 |
| ⑨ 2020 年 12 月 17 日 (木) ～ 18 日 (金) | 入門講座 |
| ⑩ 2020 年 10 月 22 日 (木) ～ 11 月 20 日 (金) | カレッジ銅合金専門講座 |
| ⑪ 2020 年 11 月 12 日 (木) ～ 12 月 4 日 (金) | カレッジ軽合金専門講座 |

(6) 鑄造技術研修会

- | | | | |
|---------|----------------------|-----|----------|
| ① 第 1 回 | 2020 年 12 月 16 日 (木) | Web | 出席者 36 名 |
| ② 第 2 回 | 2021 年 1 月 28 日 (木) | Web | 出席者 50 名 |
| ③ 第 3 回 | 2021 年 3 月 12 日 (金) | Web | 出席者 31 名 |

1 1. 鑄造技士会活動に関する事項

鑄造カレッジを一定の成績で終了した受講生に対する協会認定制度「鑄造技士 (Foundry Expert)」は、2020 年度で 1072 名を認定するに至った。この鑄造技士の技術のさらなる向上とネットワークを維持強化するための組織として、鑄造カレッジの 6 つの開催地区ごとに鑄造技士会を設立している。2020 年度の各地区鑄造技士会は新型コロナウイルス感染症拡大により大きな活動を行っていない。

1 2. 標準化に関する事項

(1) 標準化委員会 (委員長：岡田和彦)

JIS 及び ISO に関する審議を行った。

「JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品」の作成 (JIS G 5502 分科会開催)

- | | | | |
|----------|----------------------|-----|---------|
| ① 第 13 回 | 2020 年 6 月 25 日 (木) | Web | 出席者 7 名 |
| ② 第 14 回 | 2020 年 7 月 10 日 (金) | Web | 出席者 8 名 |
| ③ 第 15 回 | 2020 年 8 月 28 日 (火) | Web | 出席者 8 名 |
| ④ 第 16 回 | 2020 年 9 月 3 日 (木) | Web | 出席者 6 名 |
| ⑤ 第 17 回 | 2020 年 11 月 5 日 (木) | Web | 出席者 5 名 |
| ⑥ 第 18 回 | 2020 年 11 月 10 日 (火) | Web | 出席者 5 名 |
| ⑦ 第 19 回 | 2020 年 12 月 1 日 (火) | Web | 出席者 6 名 |
| ⑧ 第 20 回 | 2020 年 12 月 15 日 (火) | Web | 出席者 3 名 |
| ⑨ 第 21 回 | 2020 年 12 月 21 日 (月) | Web | 出席者 5 名 |
| ⑩ 第 22 回 | 2021 年 1 月 14 日 (木) | Web | 出席者 6 名 |

「JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品」原案作成委員会開催

- | | | | |
|---------|---|-------|----------|
| ① 第 1 回 | 2020 年 8 月 26 日 (水) | Web | 出席者 15 名 |
| ② 第 2 回 | 2020 年 12 月 7 日 (月) ～ 12 月 18 日 (金) | メール会議 | 出席者 10 名 |
| ③ 第 3 回 | 2020 年 12 月 22 日 (火) ～ 2021 年 1 月 8 日 (金) | | |

メール会議 出席者 13 名

(2) ISO/TC25 国内審議委員会（委員長：浅野和典）

ISO/TC25 の規格改定等に関する審議を行った。

- ① 2020 年 5 月 19 日（火）～21 日（木）に WG16 の Web meeting が開催（スウェーデン）され、事務局より伊藤が審議に参加した。
- ② 2020 年 10 月 28 日（水）～29 日（木）に第 32 回 ISO / TC 25 鋳鉄 & 鋁鉄の全体会議が、オンライン会議（ロンドン）で開催され、日本より浅野委員長、事務局から伊藤が参加した。

(3) ISO/TC306 国内審議委員会（委員長：橋爪政治）

1 3. 設備・原材料等に関する事項に記載

1 3. 設備・原材料等に関する事項

(1) ISO/TC306 国内審議委員会（委員長：橋爪政治）

ISO/TC306（鋳造機械規格）の国際規格制定等に関する審議を行った。

- ① 2020 年 7 月 3 日（金）Web
- ② 2020 年 8 月 28 日（金）Web
- ③ 2020 年 10 月 30 日（金）Web
- ④ 2020 年 11 月 19 日（木）Web
- ⑤ 2020 年 11 月 26 日（木）Web
- ⑥ 2020 年 12 月 22 日（火）Web

(2) ISO/TC306 国際会議

- ① 2020 年 9 月 10 日（木）WG1 Web
- ② 2020 年 9 月 15 日（火）WG1 Web
- ③ 2020 年 9 月 22 日（火）WG1 Web
- ④ 2020 年 9 月 29 日（火）WG1 Web
- ⑤ 2020 年 11 月 19 日（木）本会議 Web
- ⑥ 2020 年 11 月 27 日（金）WG2 Web
- ⑦ 2020 年 1 月 12 日（火）WG4 Web
- ⑧ 2021 年 1 月 18 日（月）WG4 Web
- ⑨ 2021 年 1 月 19 日（火）WG4 Web
- ⑩ 2021 年 2 月 25 日（木）WG4 Web
- ⑪ 2021 年 3 月 18 日（木）WG4 Web

1 4. 国際交流に関する事項

(1) 国際会議・海外セミナー等への参加

- ① 海外協会との交流
 - 1) Metal China は 8 月に延期して開催され、開会式において藤原会長が VTR で挨拶をした。
 - 2) WFC-釜山は 2022 年 10 月 16 日～20 日に延期
- ② アジア鋳造協会（AFA）関係
 - JFS の輪番幹事（2024 年前後）への対応
 - 澤田部会長がインドネシアのイベントの際に、3 月 24 日に開催された WEB 会議に出席し AFA の各国協会メンバーに挨拶した。
- ③ 世界精密鋳造会議（WCIC）等精密鋳造関係

- 1) 精密鑄造国際委員会
第1回 2020年 7月 14日 (火) Web
第2回 2021年 3月 31日 (水) Web
- 2) WCIC・ISIC 実行委員会
第1回 2020年 11月 12日 (木) Web
第2回 2021年 3月 31日 (水) Web
- 3) ISIC への CFA 開催国加入要請への対応
- 4) ICI (米国) バーチャルコンファレンス (10月) への「日本市場動向」のビデオ講演を投稿

④ YPP 委員会

- 第1回 2020年 7月 8日 (水) Web
- 第2回 2020年 11月 18日 (水) Web
- 第3回 2021年 3月 4日 (木) Web

15. 労働安全衛生に関する事項

鑄造業における安全衛生対策の推進のため、リスクアセスメントの普及活動として、4団体合同で研修会打合せを開催した。

16. 表彰に関する事項

(1) 協会賞の募集・選考・表彰

日本鑄造協会の協会賞として、12月に協会功労賞、経営改善賞、技術賞、技術開発賞、小林英三賞、滝沢賞の募集を行い、3月に選考を行った。

また、2019 (令和元) 年度に決定した下記受賞者の表彰式を10月の秋季大会において予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から秋季大会を中止としたため、10月に表彰状と記念品を贈呈した。

<協会特別功労賞>

伊藤光男 (川口鑄物工業協同組合・伊藤鉄工(株))

<協会功労賞> ※順不同

田中保昭 (大和重工(株))

金子圭一 (株IJTT)

仁科捷哉 (株真岡製作所)

明石 巖 (株明石合銅)

白川善一 (日立オートモティブシステムズハイキャスト(株))

長島博高 (長島鑄物(株))

小山隆宏 (長野県鑄物工業協同組合・(株)コヤマ)

重里正次 (三井ミーハナイト・メタル(株))

稲永 孝 (日立金属(株))

鈴木茂行 (太洋マシナリー(株))

故・及川勝比古 (水沢鑄物工業協同組合・(株)及精鑄造所)

<技術賞>

玉置充快 (ヤンマーキャステクノ(株))

17. 広報、普及啓蒙及び情報資料の提供に関する事項

(1) 機関誌「鑄造ジャーナル」の発行

編集委員会を毎月開催し、機関誌「鑄造ジャーナル」を発行。毎月・年12回の発行を予定していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、5月・6月号を合併号としたため、11回の発行となった。また、協会ホームページに鑄造ジャーナルの目次を掲載した。

(2) 協会ホームページによる情報提供

協会ホームページの会員専用ページとEメールを活用し、各種情報の迅速な提供を行い情報発信の強化を行った。

(3) 最近の鑄造業界動向の発行

当協会の四半期調査、毎月調査及び鑄造に関連する公的統計から鑄造業界に関する動向をまとめた「最近の鑄造業界動向」を毎月発行した。

(4) その他広報事業

① 新聞・雑誌等に業界PR記事の提供

報道機関に対する広報活動として、日本経済新聞、日刊工業新聞、鉄鋼新聞他の専門紙の担当記者へのプレスリリースを行い、資料の提供等取材に協力した。

② 需要業界における各種調査研究資料の収集と提供を行った。

③ 経済産業省等関係官庁からの公報・情報収集活動と会員への提供を行った。

④ その他、業界発展のための広報・情報活動を行った。

(5) 普及啓蒙事業

① 経営、技術及び海外情報に関する相談業務

② 新技術開発・新製品開発に関する紹介

(6) その他情報の提供

① 法律、制度、経営、技術及び労働に関する情報の提供

② 会員（賛助会員を含む）に関する情報の提供

③ 内外の関係情報の提供

18. 会員の催物に対する協力及び協賛に関する事項

(1) 経営、技術、労務関係、教育図書及び文献及び視聴覚教育資料の斡旋

(2) 工場視察及び見学会の斡旋

(3) 記念行事、催物における表彰状若しくは感謝状の授与

(4) 会員主催の行事、催物等への協賛及び参加

19. その他本協会の目的を達成するために必要な事項

以上の他、定款の目的に沿った各種事業を行った。

VI. 支部・地域活動、地方組織に関する事項

1. 東海支部

支部総会を2020年4月16日（木）に書面（審議）にて開催。支部役員会を2021年2月12日（金）に開催。講演会は2021年1月20日（水）、2021年2月26日（金）の2回オンラインにて開催。また、技術講習会をオンラインと対面の混合にて2回、オンラインにて1回実施した。

2. 北陸支部

支部総会を2020年4月22日（水）に書面（審議）にて開催。支部役員会を2021年2月16日（火）（Web）に開催。また、鑄造初級講座を日本鑄造工学会北陸支部と共催した。

3. 中国四国支部

支部総会を2020年4月8日（水）にオンラインにて開催。支部役員会を2020年4月11日（土）書面（審議）、2020年8月7日（金）（対面及びWeb）、2020年11月28日（土）（Web）及び2021年2月18日（木）（Web）の4回開催し、併せて本部活動報告を2回実施した。

VII. 関係官庁への協力に関する事項

1. 適正取引推進のための各種委員会への委員推薦・出席

（1）型取引の適正化推進協議会

新たな型取引の規範となる基本的な考え方や契約のひな型作成のため産官学による「型取引の適正化推進協議会」に藤原会長が委員として参加した。

第4回 8月27日（木）、第5回 12月10日（木）

（2）約束手形をはじめとする支払条件の改善に向けた検討会（伊藤前会長が商工会議所代表として委員参加）

第1回 7月31日（水）、第2回 8月19日（水）

第3回 9月14日（月）、第4回 11月16日（月）

第5回 12月21日（月）、第6回 2月19日（金）

（3）中小企業政策審議会中小企業経営支援分科会取引問題小委員会

1日目：2021年3月22日（月）、2日目：3月25日（木）

2. 中央技能検定委員の推薦

「特級・鑄造」および「特級科目別（品質管理）」について委員を推薦した。

3. 「中小企業経営強化法」関連の証明書発行

中小企業等経営強化法の設備に係る仕様等証明書の発行を行った（112件）。

VIII. 関係団体との交流に関する事項

1. 素形材関連団体連絡会

素形材に関する交流促進や普及啓発を議論し実施する場として、（一財）素形材センターが主催する素形材団体交流委員会に鈴木専務理事が委員として出席した。

2. 素形材産業優良従業員表彰委員会

（一財）素形材センターが主催する素形材産業優良従業員表彰委員会に、鈴木専務理事が委員として出席した。

3. 鋳物関連団体への協力

- (1) (公社) 日本鋳造工学会の講演大会、各支部におけるセミナー、工場見学会を後援。
- (2) (一財) 素形材センターの素形材月間事業 (11 月) への後援。
- (3) 島根県鋳造関連産業振興協議会総会 (7 月 10 日・松江市) に藤原会長及び鈴木専務理事が出席し、2020 年度の当協会の活動概要を報告。

IX. 会員及び組織に関する事項

1. 組織拡充強化に関する事項

- (1) 未加入の企業、組合の正会員の加入を促進した。(正会員 3 社加入)
- (2) 本協会の目的・事業に協力いただく賛助会員の加入を促進した。(3 社加入)

2. 会員及び組織に関する事項

- (1) 正会員及び賛助会員 (2021 年 3 月 31 日現在)
 - ① 法人正会員 339 社
 - ② 団体正会員 32 組合 (467 社)
 - ③ 賛助会員 48 社
- (2) 理事・監事・協会役員・顧問・参与名簿 (別紙 1 参照)
- (3) 協会事業運営組織図 (別紙 2 参照)
- (4) 部会委員・支部長名簿 (別紙 3 参照)
- (5) 協会事務局組織図 (別紙 4 参照)
- (6) 協会活動状況一覧表 (別紙 5 参照)